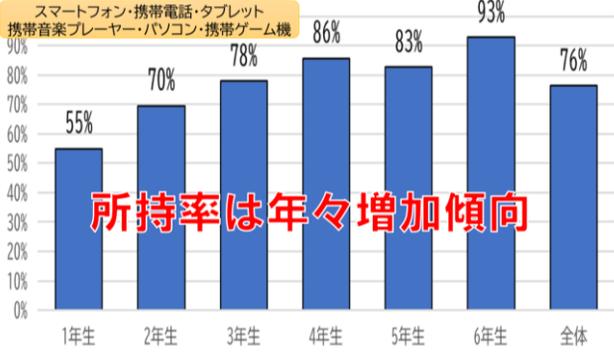


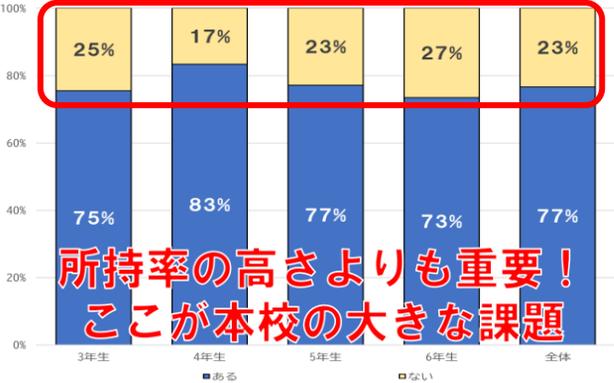
情報通信機器の現状について

情報通信機器の学年別所持率



所持率は年々増加傾向

情報通信機器について家庭での決まり事(ルール)がある



**所持率の高さよりも重要！
ここが本校の大きな課題**

昨年末までにすべての子供たちを対象に「心のアンケート」を実施しました。その中で、情報通信機器に関する項目について整理したデータの一部です。所持率は時代の流れから、年々増加していますが、気になるのは家庭での決まり事(ルール)がないという子供の多さです。この他の結果は、17日の授業参観時に配付します。

時代の流れ

青少年の所持率増加

所持率増加以上に家庭のルールが大切

～お知らせ～

- ◆明日日17日(土)は…
「**クリーン大作戦**」通学路のゴミ拾いを登校中に行います。
- 「**授業参観**」あらおベーシックスタイルで行います。
- 「**教育講演会**」親子関係を築くコツについて坂口明夫さんの講話です。

情報通信機器の所持率向上は、時代の流れであり、それを否定するものではありません。学校では、今後も情報の扱い方や人権意識を高め、SNS上への無断掲載などの危険性(情報モラル等)についての指導を行います。

しかし、SNSなどでトラブルがあった場合、下校後のことであり、個人情報勝手に開示させるといった指導は、学校では対応ができません。内容次第では、警察に相談するような事案となることをご理解ください。(現に中学校では、動画などを勝手にSNSで拡散したことで、警察の指導が入る事案も起きています)

そのためにも、使用に関する約束事やフィルタリングの設定につきましては、保護者の責任の下、必ずお子さんと話し合っ決めてられることをお勧めします。



「万田小校区見守りたい」の輪が広がる

昨年からの、このような名札を付けている方が増えています。登下校の子供たちを、通勤途中や職場の前で見守りを行ったり、一緒に登校する際に見守ったりするための名札です。県P連「子供見守り支援事業」の予算を使って、名札ケースを購入。



地域学校協働活動推進員の田添さんや平野さんが、保護者だけでなく地域の方にも呼び掛けて、その輪を広げておられます。お尋ねがあれば、本校教頭までご連絡ください。
(☎63・0138吉田)

管内教育論文特選受賞

本年度の教育実践をまとめた論文「教育論文」の表彰式が、先日行われ、本校の奥田彩花教諭が、全131点の内4点だけの特選に選出されました。全学級で取り組んでいる学級力向上の実践やあらおベーシックの授業をまとめた内容です。

この他、学校論文や若手職員4名も、教育実践を論文にまとめ、好評価を得ました。自分の実践を振り返り、次年度につなげることと思います。

